

公益社団法人 全日本鍼灸学会
会長 久光 正 様
日本伝統鍼灸学会
会長 形井 秀一 様
公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
会長 伊藤 久夫 様
公益社団法人 全国病院理学療法協会
会長 平野 五十男 様
公益社団法人 東洋療法学校協会
会長 坂本 歩 様
公益社団法人 日本鍼灸師会
会長 仲野 弥和 様
公益社団法人 日本あん摩マッサージ指圧師会
会長 安田 和正 様
社会福祉法人 日本盲人会連合
会長 竹下 義樹 様
日本理療科教員連盟
会長 栗原 勝美 様

冠省 貴団体から9月21日付文書「はり治療による長胸神経麻痺に関する報道についての照会」が当球団に送達されたことを受けて、当球団は当該選手を診察した複数の医師から、あらためてお話をうかがいました。

いずれの医師も、選手の症状等から長胸神経の不全麻痺であり、それに伴う前鋸筋の機能低下であるとの診断に変わりはないと話されています。また、発症時期や当該選手の間診等から、長胸神経の麻痺は、当球団のトレーナーが行った鍼治療が原因となった可能性が考えられると答えられました。ただし、鍼治療以外にも、強い力がかかる他の外的要因によって長胸神経の麻痺が生じた可能性もあるとの意見も出ました。

お話をうかがった医師はいずれも、経歴や専門分野における実績等に秀でており、当該選手に関する診断は信頼に値するものと当球団では考えています。

当該選手の長胸神経麻痺はすでに回復しております。また、当該選手を施術したトレーナーは、現在も当球団のトレーナーとして勤務しています。当球団は鍼治療が有効であることを十分認識しており、現在も多くの選手やスタッフ

に対して鍼治療が行われています。今後も引き続き鍼治療を活用していく方針
に変わりはありません。

末筆ながら、貴団体の益々のご発展を祈念しております。

草々

2017年11月7日

株式会社 読売巨人軍